

令和4年度 予算 のお知らせ

令和4年2月15日に開催された組合会において、令和4年度の予算が可決・承認されましたので、以下、その概要についてご説明いたします。

令和4年度 一般勘定予算の概要

- ① 被保険者数は前期比1、478人減の60、038人、平均標準報酬月額額は同5、253円増の45万5、339円、総標準賞与額は同11億48百万円減の909億81百万円を見込みました。
- ② 一般保険料収入は、被保険者数の減少を主因に前期比3億99百万円減の317億72百万円を計上しました。経常収入全体では、同4億13百万円減の318億9百万円としました。
- ③ 一方、経常支出において、保険給付費は新型コロナウイルスの影響を除外するため元年度実績をベースに策定しており、1人当たりの給付費の増加による元年度比7億35百万円増と被保険者数の減少による元年度比12億円減を合わせ、4億66百万円減（前期比では5億90百万円減）の186億56百万円としました。また、納付金（高齢者医療制度支援のための負担金）は、当年度の減少と前々年度精算金（確定額一概算支払額）の戻りの増加を合わせ、109億39百万円を見込みました。当年度分の減少は、被保険者数の減少に加え、新型コロナウイルスの影響で減少した2年度の保険給付費が算出のベースとなっている影響が大きいと考えられます。疾病予防事業などに

- 充てる保健事業費は、新型コロナウイルス以前の水準に回復しつつあることから増加基調を見込み、前期比1億98百万円増の20億55百万円を計上しました。経常支出全体では、同11億15百万円減の320億7百万円としました。
- ④ この結果、経常収支差引額は前期比7億3百万円改善し、1億98百万円の赤字となる見込みです。
 - ⑤ 経常外収支では、予備費として、保険給付費等の予想外の支出に備えて計上する通常分21億45百万円と、3年5月に売却した武蔵野運動場の売却代金を準備金から別途積立金に保管替えする会計処理のための特別分77億50百万円を合わせた98億95百万円を計上しています。
 - ⑥ 最終的に、経常収支と経常外収支の合計額である20億円の不足は、同額別途積立金から繰り入れて収支バランスをとりました。
 - ⑦ 以上のとおり、令和4年度の経常収支差引額は、平成29年度以来6期連続の赤字予算計上ということになります。健保組合を取り巻く環境は、今後も高齢者医療制度への過重な納付金負担や医療の高齢化や高齢化の進展にともなう医療費の増加などによる厳しい財政状況が見込まれます。当健保組合としましては、加入者の皆様の健康寿命の延伸、並びに健全な財政基盤の構築に向け、保険者機能の強化や一層の事業の効率化に取り組んでまいりますので、みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和4年度 介護勘定予算の概要

厚生労働省から毎年示達される介護納付金は、第2号被保険者数の減少や過年度精算金が発生したことから、前期比2億5百万円減の39億64百万円となりました。この納付額に見合う収入を確保するための令和4年度の介護保険料率は、前年度から1%引き下げた16%としました。引き下げの要因は介護納付金の減少に加え、3年度に特定被保険者制度を導入したことによる保険料支払い対象者の増加を見込んだことによるものです。

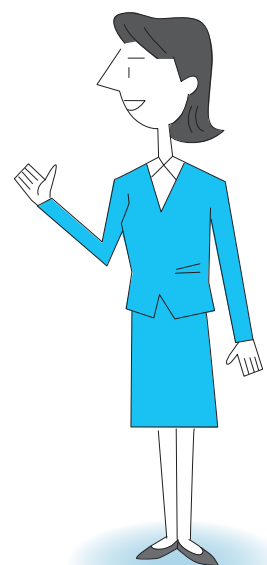
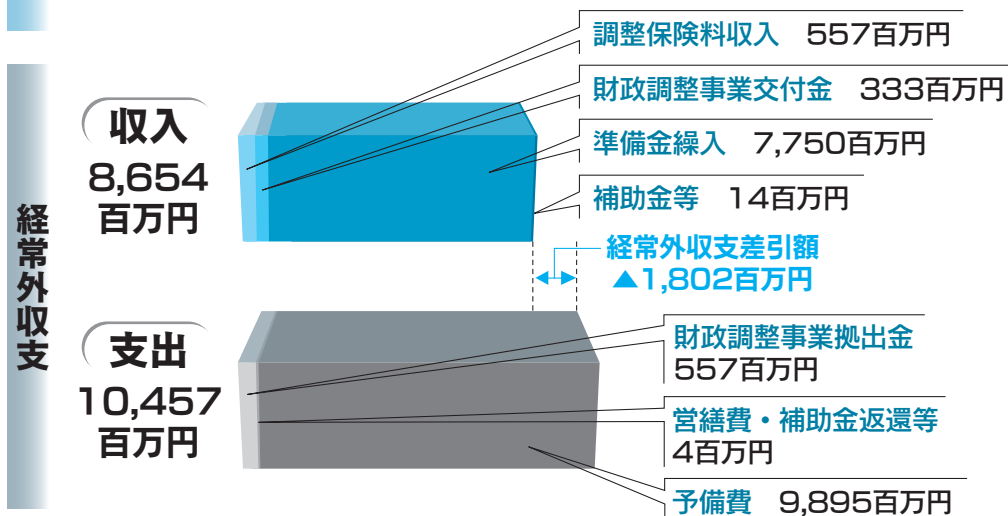
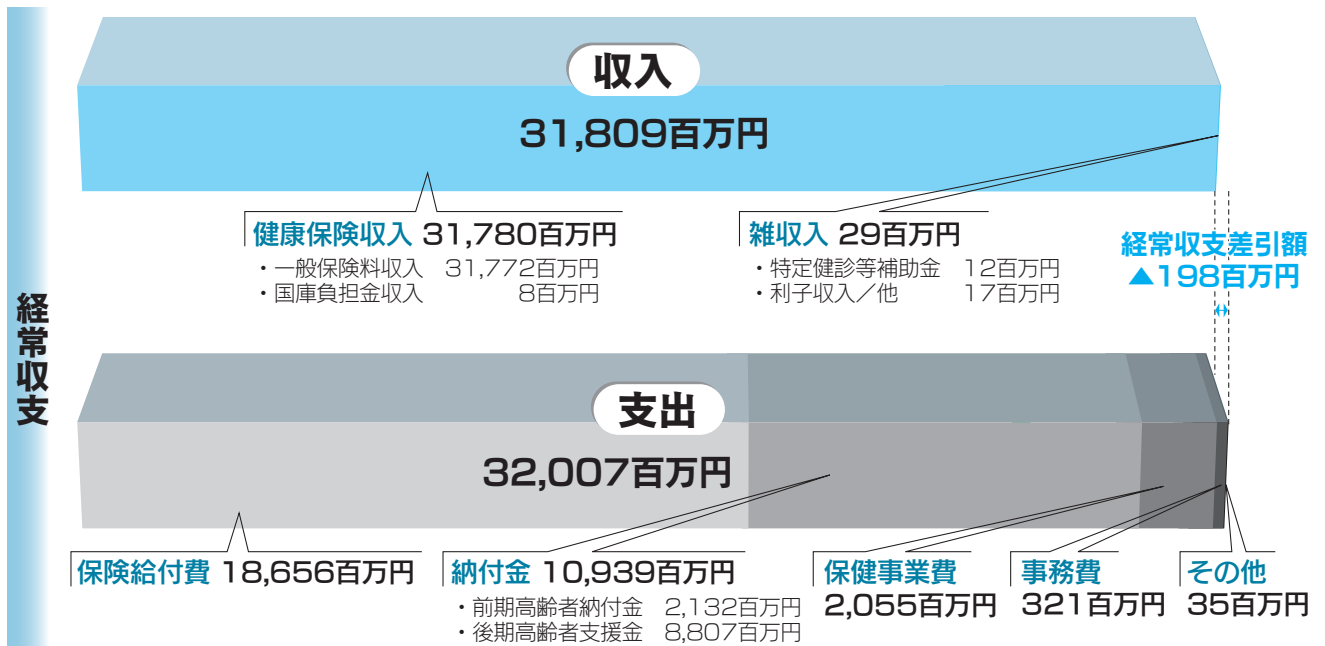
医療費節減のご協力をお願いいたします

無駄のない
適切な受診を
心がけましょう

健保組合を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。限られた健康保険料を効果的・効率的に保険の給付や、健康増進・疾病予防のための健診事業等に充てるため、引き続き、医療費節減のご協力をお願いいたします。

- 健康管理を心がけ、生活習慣を改善し、健康づくりに取り組みましょう。
- ジェネリック医薬品を活用しましょう。
- 重複受診（同じ病気で、複数の医療機関等に受診）は避けましょう。
- 休日・夜間・早朝の時間外診療などは、緊急のやむを得ない場合に限りましょう。
- 接骨院等で施術を受けるときは、単なる肩こりや筋肉疲労に健康保険は使えません。

一般勘定 令和4年度収入支出予算



介護勘定 令和4年度収入支出予算

